

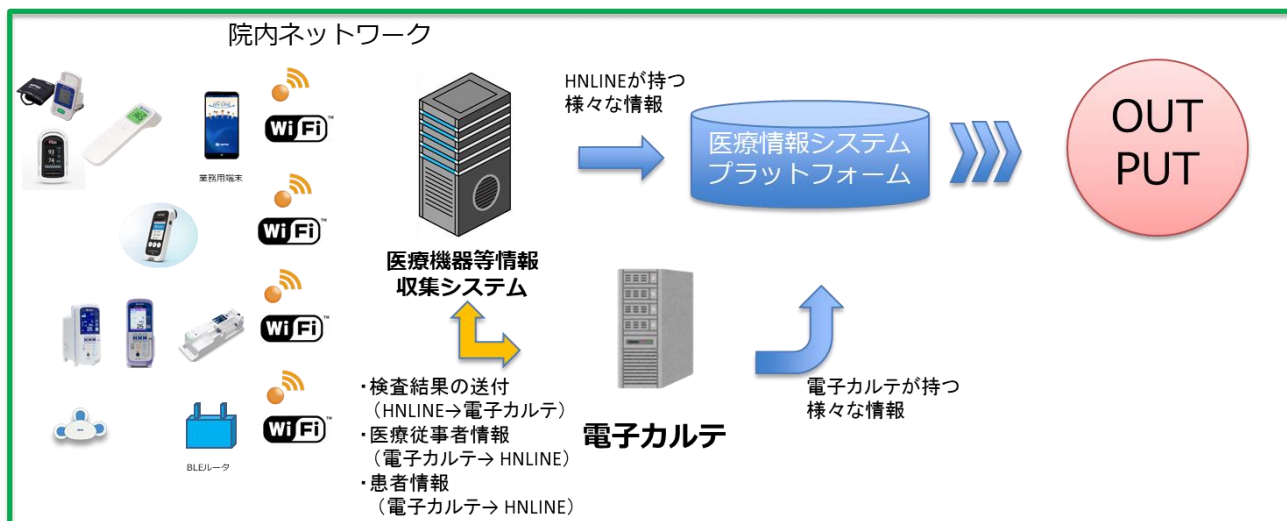
令和5年4月3日

 地域医療ネットワークに必須なIoTデバイスを用いた医療情報の統合管理
 及び利活用のためのシステムプラットフォームの構築を開始しました

情報提供

国立大学法人広島大学（学長：越智光夫）と医療機器メーカー「ニプロ株式会社」（代表取締役社長：佐野 嘉彦）は、このたび共同研究契約を締結し、今後、広島大学病院医療情報部の三原直樹 教授の下、診療データを用いたシステムプラットフォームの構築および評価指標確立に向けた新技術の研究に取り組むことに合意しました。

広島大学病院内の各医療機器の情報をニプロの医療機器等情報収集システム「ニプロHNLINE」を通じて、医療情報システムプラットフォームへ自動的に共有しつつ情報管理を統合化します。これにより医療情報の利活用、診療の質向上および医療従事者の業務効率改善につながります。



医療機器等情報収集システムと医療情報システムプラットフォームの連携概要

本研究において、2023年12月31日までに、医療機器等と病院内の電子カルテとの連携システムを病院内に構築し、このシステムプラットフォームへ各種診療データを集積する仕組みを構築、更に、この仕組みを運用することによる効果（医療情報の利活用、診療の質向上、業務効率改善における有用性等）を評価するための指標の確立をめざします。

※医療機器等情報収集システム（ニプロHNLINE）とは、バイタル機器、血糖測定器、輸液管理、心電送信機を用いた見守り機能を有し、電子カルテ等と連携し看護業務効率化を図るシステム。

【お問い合わせ先】

病院医療情報部 教授 三原 直樹

Tel : 082-257-5082

E-mail : hp-info-research@ml.hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 1枚（本票含む）